

ファブ社会の基盤設計に関する検討会 第4回 議事要旨

1. 日時

平成27年3月16日(月) 15:30~17:30

2. 場所

総務省11階会議室

3. 出席者(50音順、敬称略)

【構成員】岩寄構成員、風間構成員、瀧田構成員、田中構成員、田邊構成員、
平野構成員、水野(大)構成員、水野(祐)構成員、村西構成員

【総務省】泉情報通信政策研究所長、小津調査研究部長、尾川主任研究官

4. 議事要旨

(1) 構成員によるプレゼンテーション

「ファブ社会の市場経済像」(岩寄構成員)

【要旨】

- ・ ファブのインパクトにより、生産消費システムは「メーカーがモノを作り、小売りを通じて販売され、生活者は一方的に消費する」時代から「生産と消費の枠組みが企業と個人を超えて交差する」時代になると考えられる。これは、大量生産・大量消費を流儀とする「モダン」の時代を超越する「アフターモダン」の時代の訪れにあたるのではないか。
- ・ 「ファブの生産消費システム」におけるプレイヤーは、ゼロからモノを作る“Maker”、部分的な改変を担う“Arranger”、パーツパーツのカスタマイズを好む“Customizer”、色々なバリエーションの製品を選ぶ“Chooser”に分類できる。
- ・ 「ファブの生産消費システム」へのインパクトを、モノの作られ方、モノの形状・あり方、販売・流通・消費に分類すると以下の通りとなる。
 - …モノの作られ方におけるインパクトとして、クラウドファンディングの活用により、資金調達及びマーケティングのリスクが低下することが挙げられる。それにより多くのプレイヤーの市場参入が期待でき、結果としてイノベーション創出の機会が増大すると考えられる。また、設計図等がデータ化され、ネットワーク上で流通することや大量生産から多品種少量生産になっていくことも、インパクトとして挙げられる。
 - …モノの形状・あり方におけるインパクトとして、セルフビルドキットの登場やインターネット上でデザイン等をカスタマイズして製品を発注するスマートカスタマイズ製品、リペア情報が提供されているリペアラブルな製品、コアな部分とは別に改造・交換・修理可能な余白部分をあえて残しているハッカブルな製品の登場などが挙げられる。また、サービスと併せて販売されるモノも増えていくと考えられる。

考えられる。

- ・ 日本においてインフラ設備の老朽化問題がある中で、インフラ設備がリペアラブルな形で成立することが重要になると考えられる。

(2) 取りまとめに向けて

- ・ 誰にどのように読まれるのかを戦略的に考える必要がある。
 - … 企業の人にも読んでもらうためには、エグゼクティブ・サマリーが必要である。
 - … メディアに取り上げられることやクリエイターに読まれるためには、デザインされた報告書とすることが重要である。
 - … デジタルファブリケーションを教えたいと思っている学校の先生たちにとっても、わかり易く訴求力のあるものとするべきである。
 - … クリエイティブ・コモンズライセンスを活用して翻訳可能なものとし、海外の人にも読んでもらえるようにするべきである。
- ・ ディスラプティブ・イノベーション（既存の製品の座を揺るがすようなイノベーション）が民主化されつつある。報告書では、そのような状況に関して企業側に問題提起をした方が良い。
 - … 企業がユーザー目線に立ち、コラボラティブ・エコノミーの必要性を認識する必要があるのではないか。
 - … スタートアップを大企業が買収するという選択肢もあるが、搾取のようにならない健全な形があると考えられる。

以上